

○「農業振興担当実務者と農業委員との合同会議」

(農業技術者協議会:大宮地域部会 平成30年度10月開催)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年10月12日 午前9時30分～10時30分
- 場 所: 京丹後市役所大宮庁舎
- 出席者: 農業委員1人、最適化推進委員1人
委員外6人(府、市実務担当者)
- 報告者: 石嶋政博 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 市の幹線国道を挟んで東西に水田が広がる
- 大宮町時代から小学校区や集落を単位にむらづくりが盛んに行われ、地区での話し合い活動の素地はある

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 岡田農業委員と糸井推進委員から、大宮地区定例会の活動概要と利用状況調査結果について報告
- 明田地区で農地の利用調整を主体的に行う「明田農地利用改善組合」の設立の動きの紹介
- 糸井推進委員の地元三重地区での農地管理に関して将来への不安がある内容の紹介

4 活動結果

- 情報・意見交換 1 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援